

事務事業評価資料

施策名	生物多様性の保全の推進		所管部局課名	農政環境部環境創造局自然環境課					
事業名	特定外来生物被害対策事業		担当者電話番号	野生鳥獣係 4216					
事業目的	アライグマ、ヌートリアの迅速かつ効果的な捕獲を進め、分布域の拡大の防止を図る 農業・生活環境被害の低減を図る								
事業内容	市町が行うアライグマ、ヌートリアの捕獲及び安楽死処分の支援 対象者：市町 補助対象経費：アライグマ・ヌートリアの捕獲及び安楽死処分に要する経費（補助率：県1/3以			事業開始年度	平成18年度				
事業に要するコスト	区分	平成24年度決算額		平成25年度当初予算額		平成26年度当初予算額			
	事業費	(11,275 千円) 11,275 千円		(21,000 千円) 21,000 千円		(14,000 千円) 14,000 千円			
	人件費	14,414 千円	従事人員 1.8人	14,216 千円	従事人員 1.8人	14,243 千円 従事人員 1.8人			
	総コスト（+）	25,689 千円	従事人員 1.8人	35,216 千円	従事人員 1.8人	28,243 千円 従事人員 1.8人			
事業の目標	年間捕獲頭数の拡大			〔目標設定理由〕農業被害の防止を図るため、年度ごとに設定 H21：アライグマ3,200頭、ヌートリア780頭 H22～：アライグマ4,800頭、ヌートリア1,200頭 H24～：アライグマ5,600頭、ヌートリア1,400頭					
	農業被害面積の減少			〔目標設定理由〕農業被害の防止を図るため、年度ごとに設定。 被害実績から、さらなる被害防止を図るために、目標値は30haとする。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		24年度実績	25年度見込み	26年度目標	達成率（％）		
		目標値	年度				H24	H25	H26（目標）
	年間捕獲頭数	7,000頭/年 7,000頭/年 7,000頭/年	H24 H25 H26	4,583頭 (6 千円)	3,831頭 (9 千円)	7,000頭 (4 千円)	65.4%	54.7%	100%
アライグマ・ヌートリアの被害面積（ha）	30ha 30ha 30ha	H24 H25 H26	35 (734 千円)	34 (1,035千円)	30 (941千円)	85.7%	88.2%	100%	
評価結果	必要性	・近年急速に分布を拡大し、農業や生活環境において深刻な被害を及ぼしているアライグマ、ヌートリアの地域からの排除を実現するために必要である。							
	有効性	・市町による捕獲、安楽死処分の経費支援を行うことにより迅速なアライグマ、ヌートリアの防除が進んでいる。 ・アライグマについては、全国的に農業被害が増加している中で、県内の被害額、被害面積ともに減少傾向にある。							
	効率性	・被害の増加が予測されるところ、市町への被害通報体制の整備等の積極的な生息情報の収集によって、捕獲にかかる作業コストを低減させた上で、被害を抑制できている。							
	民間・市町との役割分担	・県：「アライグマ防除指針」の策定、捕獲、安楽死処分の技術的支援 ・市町：事業の実施主体（県補助率：1/3以内）							
受益と負担の適正化	・本事業により個人が被害の回復（被害補償）を受けるものではなく、県下全域の将来的な被害予防措置であることから、県及び市町負担で実施する。								
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	県内の、アライグマ、ヌートリアに関する科学的データの蓄積が少ないため、生息頭数の推移は不明であるが、分布域が拡大し、農業被害は依然として高い水準にある。また、外来生物法に基づく被害防止計画を策定する市町も増えており、アライグマ、ヌートリアによる農業被害の拡大が懸念されることから、今後も市町とともに捕獲対策の強化を図る必要があることから、引き続き、事業を実施する。								